陸別町　藤沢牧場
草地管理に小麦栽培を取り
入れた良質粗飼料の確保

陸別町の概要

人口　2，955人

農家戸数

専業	兼業	法人
74	33	6

2005農業センサス

耕地面積

牧　草	サイレージ用とうもろこし	畑　作	合　計
5,380	330	270	5,980

H17 北海道農林統計

農耕期間の積算気温は2,275℃で、内陸山間地帯のため寒暖の差は大きく、夏期の最高気温は30℃を超え、冬の最低気温は－30℃を超えるときもあります。農業は、酪農が主体で一部で和牛繁殖や畑作経営が行われています。

経営概要

１．乳牛頭数(Ｈ１７年)

経産牛　１４６頭　育成牛　１５７頭

（１６０頭繋ぎ牛舎）

２．出荷乳量

平成　１８年　　１，３９４ｔ

経産牛１頭当たり　１０，７４３ｋｇ

(Ｈ１７年１－１２乳検成績)

経営概要

３．耕地面積

牧　草　地

７６ha(内借地　２４ha)

ｻｲﾚｰｼﾞ用とうもろこし

３０ha(内借地　１６ha)

秋まき小麦

４４ha (内借地　３３ha)

粗飼料生産に対する考え

雑草の少ない良質の草地を作る

↓

収穫適期の短期間に収穫する

↓

同じ品質の安定した粗飼料の確保

1年を通じて出来るだけ同じ品質の粗飼料を給与する

飼料給与･飼養管理が安定

乳成分、乳量、乳質が安定

疾病が減少する

生産効率の向上

収穫作業

・1番草刈取り時期

H18年　6月19～29日

（例年　7～10日で収穫）

・グラスサイレージ水分目標　　70%

・草種・品種　チモシー　中性品種

グラスサイレージ

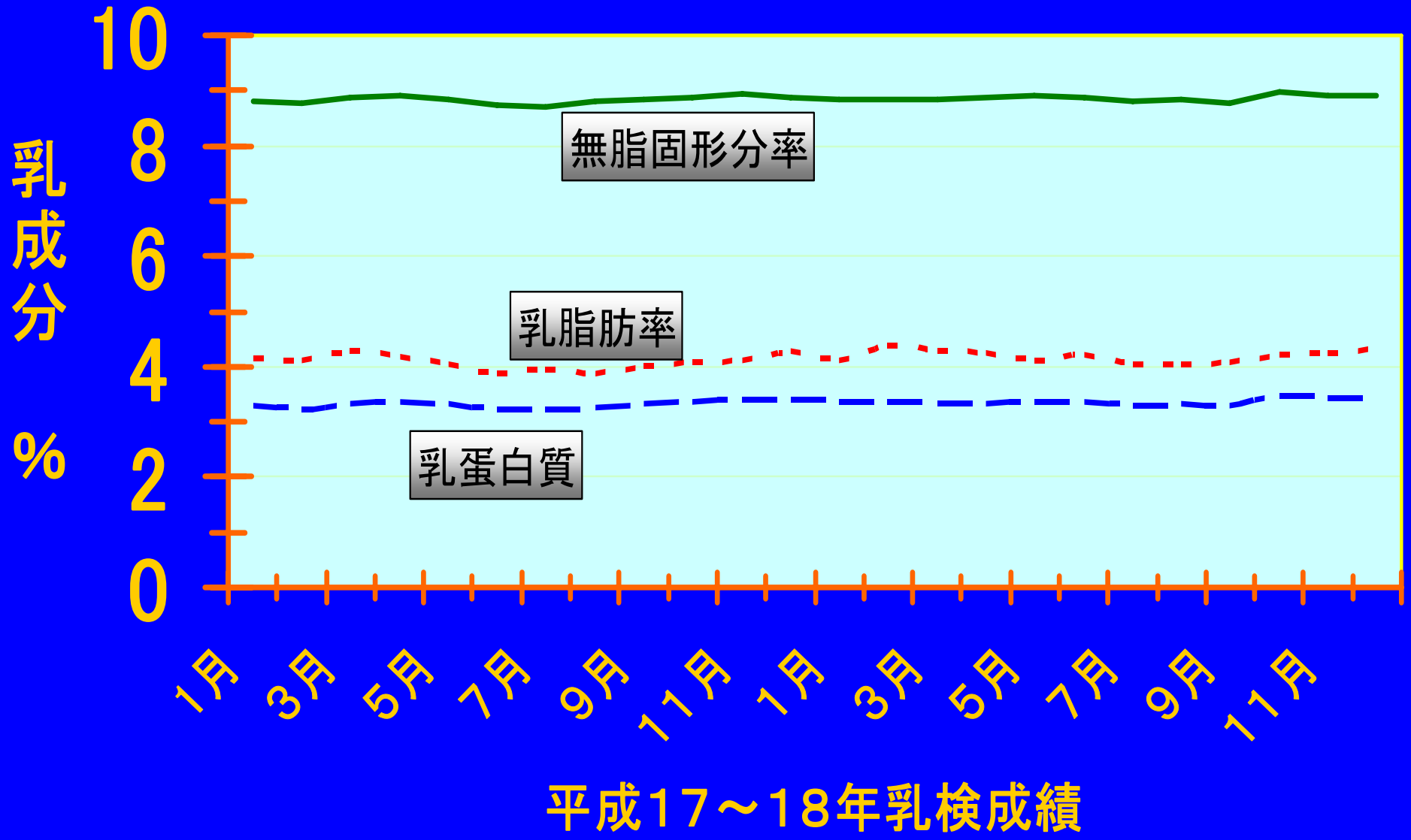
収穫調整状況

H18年産
サイレージ

グラスサイレージ

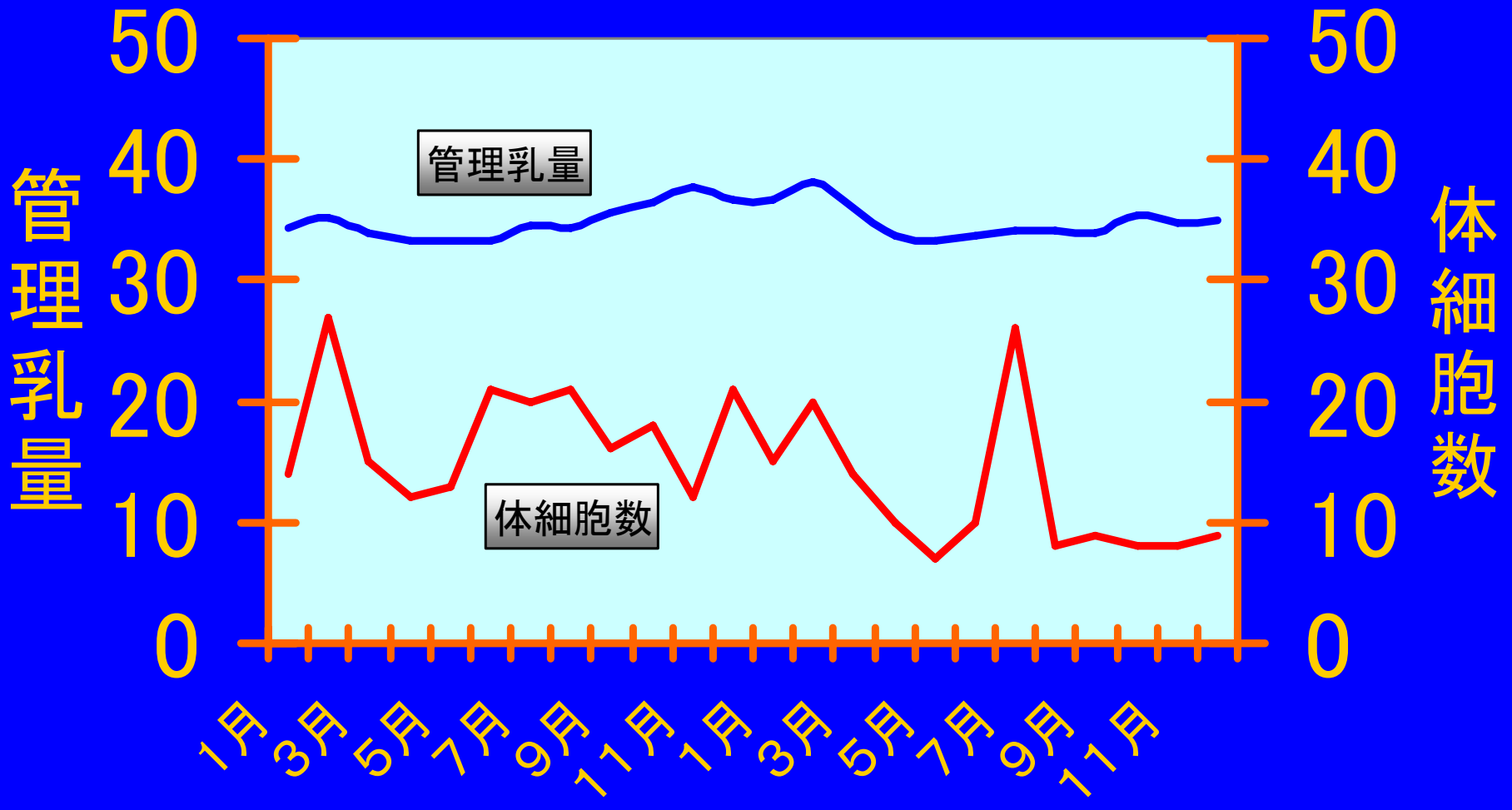
コーンサイレージ

乳成分の推移



平成17～18年乳検成績

管理乳量･体細胞数の推移



平成17～18年乳検成績

草地更新

現在の更新状況

平成17年更新　12ha

平成18年更新　　6ha

更新5年以内草地

100%　　76ha

草種・品種

チモシー　中性種

写真：H18年、2番草

更新サイクル

平　地

老朽化
草　地

→ 1番草
刈取り後

→ 秋まき小麦
(2年連作)

→ 麦収穫後
牧草播種

→ 新　播
草　地

サイレージ用
とうもろこし

→ 早稲品種
収穫後

→ 秋まき小麦
(2年連作)

→ 麦収穫後
牧草播種

→ 新　播
草　地

傾斜地

雑草の状態を見ながら5～7年で更新

H18年

更新草地

H18年8月中旬更新

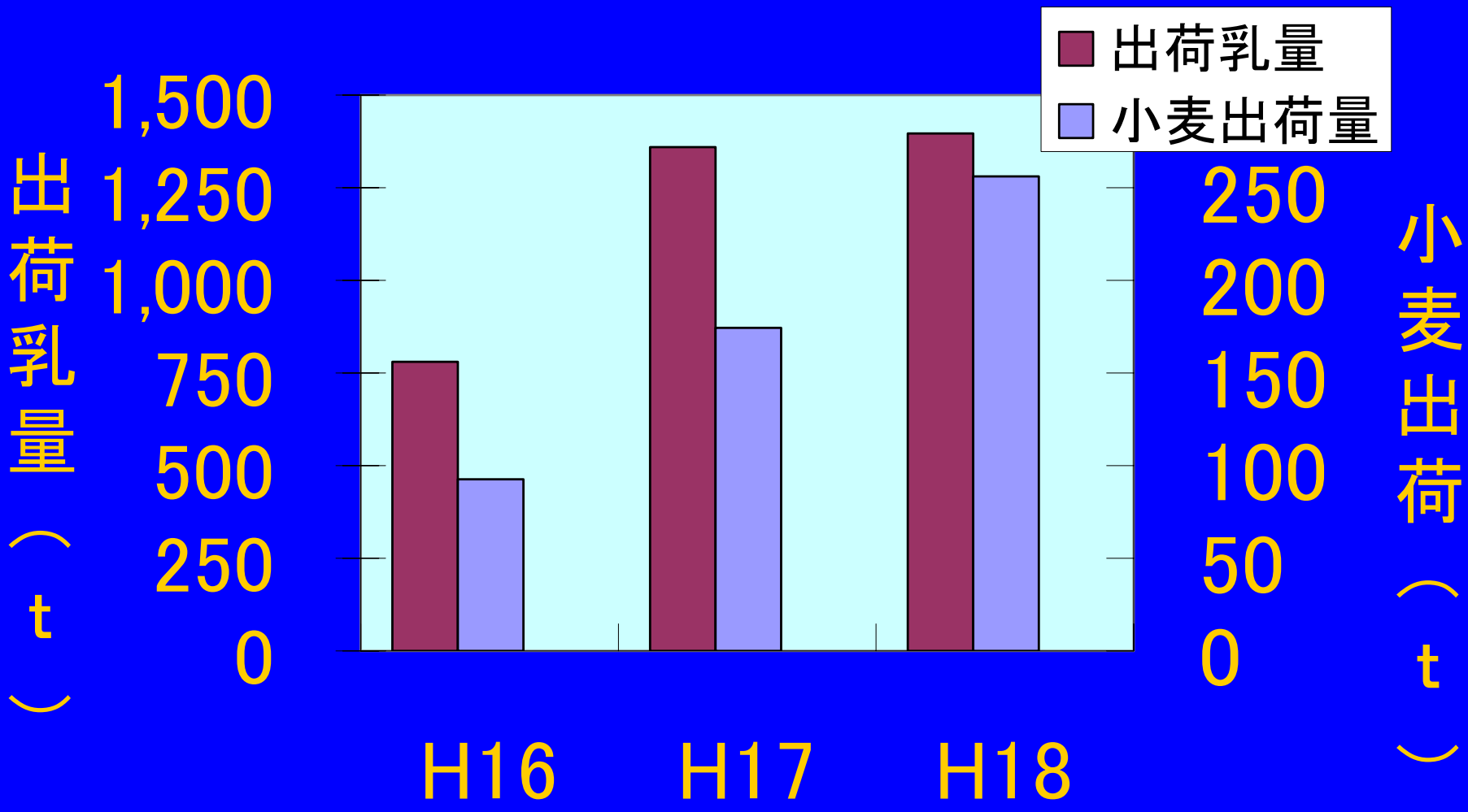
H18年11月20日撮影

H18年
更新草地
H18年8月中旬更新
H19年6月11日撮影

H18年
更新草地
H18年8月中旬更新
H19年6月11日撮影

秋まき小麦
H19年6月11日撮影

生産状況



出荷乳量(1～12月)

陸別から大地の恵みをお届けします。